

# 大阪損保革新懇ニュース

NO 72  
2006. 2. 24

大阪損保革新懇事務局  
大阪市中央区道修町三の三の十  
大阪屋道修町ビル3F 〇六六二二三二〇九五

「大阪損保革新懇・会員三〇〇名突破！名古屋・静岡で『損保九条の会』結成！

## 今年も憲法改悪反対

## 人間らしい職場をめざしてがんばろう

私たちは一月一九日新年会をかねて第一回拡大世話人会議を開催、三五名の参加であんこう鍋と鯛シャブで新年の抱負と今年の活動を語り合いました。二月六日・一四日には拡大事務局会議を開催、現在の情勢認識と当面の活動方針を討議しました。みんなの奮闘で二月一五日会員は三〇〇名を突破しました。また一月の『静岡損保九条の会』の結成について二月一八日、『なごや損保九条の会』結成総会に野村代表世話人が参加、連帯の挨拶を述べました。

闘う仲間が増えていることに自信と激励を受けて、今年も憲法改悪反対、人間らしい損保の職場をめざしてがんばりましょう。

### 小泉改革路線の破綻・矛盾のもとで

#### 全国の仲間と連携して、八年目の運動に取り組みよう！

結成七年目、二〇〇五年の大阪損保革新懇は平和署名推進、広島集会成功、朝日闘争など大きな前進を勝ち取ることができました。これらを十一月の全国革新懇全国交流集会でも報告できました。一方、憲法改悪情勢をはじめ小泉改革・新自由主義路線がより強く推し進められようとしています。ライブドア・BSE・耐震偽装・防衛施設汚職など小泉改革路線の破綻・矛盾が続々と発覚し、貧困と格差拡大に対する国民のたたかい・反撃が大きく発展する条件もできています。『九条の会』は短期間に全国で四〇〇〇以上が結成され、損保でも一月に静岡・名古屋で損保九条の会が誕生した。八年目の大阪損保革新懇の運動は自らの力量を強めるため、当面三〇〇名会員と共に、憲法・平和・損保の民主化などの課題に取り組みよう。

### 大阪損保革新懇・当面の活動

- 一、会員拡大の取り組みをすすめる、二月末までに必ず300名会員を実現する。(二月一五日、三〇〇名を突破しました。)
- 二、『平和 憲法 損保の民主化』の三課題をテーマとした講演会を三月から月一回開催する。
  - 三月七日(火)に阪南大学流通学部教授・櫻田照雄氏を招いて『小泉「改革」とライブドア』の講演会を開催します。
  - 四月には(日程未定)、ジャーナリスト・西谷文和氏(元吹田市役所職員)を招いて『イラクの今』(仮称)の講演を予定。
- 三、『損保九条の会』『あいおい革新懇』『大阪損保革新懇』の三者がよびかけ人となり、昨年八月広島に結集した9団体にも声をかけつつ壮大な新しい運動の検討を始める。具体的イメージとして
  - ① 品川講演から『平和・憲法・損保の民主化』について再編をする。

- 一 九九九年・二〇〇三年大阪損保革新懇講演・二〇〇五年六月東京九条の会講演・二〇〇五年八月広島講演の四つからエッセンスをドッキングして再編する。
- ② 損保産業と職場の現状を告発する。
  - 大型合併後の損保産業(総資産、収保、雇用、賃金、代理店など)の構造変化と職場の状況について分析・検討し、損保の民主的発展と損保労働者の雇用と労働条件を守る立場からの提言をまとめる。事務局で資料を集中し、分析作業に入る。
- ③ 職場からの状況報告とたたかひの決意を表明する集会の開催を検討する。
- ④ これらの進め方として、『損保九条の会』『あいおい損保革新懇』によびかける。大阪損保革新懇ではプロジェクトチームを編成し、インターネットを通じて、効率的な編集作業をすすめる。これらの作業進行と平行してシンポジウムの開催やブックレットの刊行についても視野に入れていく。

# 『なごや損保九条の会』結成される

―野村代表世話人が連帯の挨拶―

二月十八日、『なごや損保九条の会』結成総会が開催されました。昨年三月から有志がこの会の結成をめざし、七回にわたる憲法学習会と準備会を開催、多くの仲間呼びかけてこの日の結成総会を迎えました。総会には損保OBと現役二〇数名が参加し、新発足を喜び合いました。

大阪損保革新懇から野村代表世話人も出席、「結成おめでとう。今回の結成は全国の損保革新懇と損保九条の会の仲間大きな自信と勇気を与えてくれてます。ともに頑張りましょう」と連帯の挨拶を述べました。東京の『損保九条の会』からのメッセージも紹介されました。

総会では田巻紘子弁護士が『憲法を活かしてどんな世界がつかれるか』を講演。あとの質疑では「国民投票の内容と方法はどうか」「九条を守りきった日本はどうか」「国民の生活・福祉への影響はどうか」など活発な質問や意見が交わされました。そのあと全員で設立アピール・会則を確認、役員を選びました。世話人には原照生(元日産)、遠作(元大成)、堀井優(元日火)、服部勝一(元日新)、深貝英男(元日動)、高橋満治(元日火)の六氏が選ばれました。全員でもっと仲間を増やし、活発な活動を進めていくことを確認しました。またこの席で東京海上日動火災外勤社員全員解雇闘争の提訴団の一人、松本茂満氏は会社提案内容、仲間のたたかいの状況とみずから決意を述べました。二次会も一〇数名が参加、夜遅くまで決意と懇親が進められたようでした。

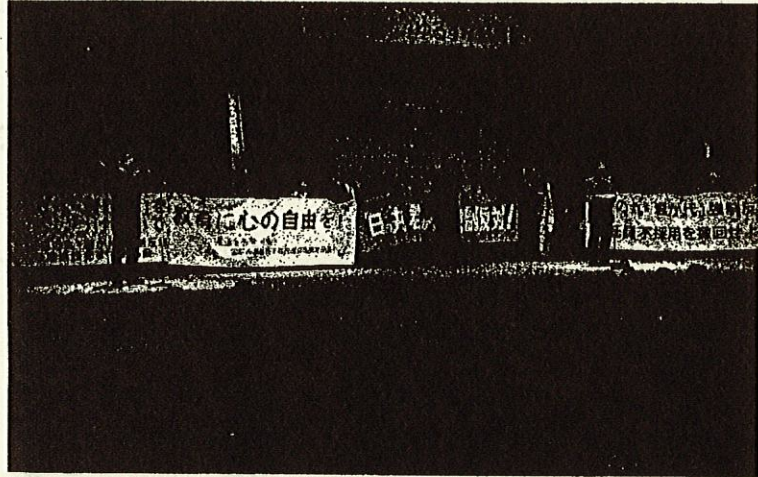
## 渥 改憲反対ご一緒に

### 品川 経済同友会 迎え講演会

「平和と民主、社会進歩をめざす新潟県の会」(新潟県社会進歩の会)と損保新潟革新懇は十一日、品川正治・経済同友会終身幹事を迎え、新潟市で憲法問題での講演会を開き、二百二十人が参加しました。

長崎明代表世話人のあいの座標軸にして生きていきたいに続き講演した品川氏は、戦前部隊にいたときに新鮮な気持ちになっ食べるものもなく悲惨なことを紹介しました。品川氏は、国民が憲法改憲にノアの結論を突き進めたいが、内閣総辞職を許さず止めるのも人間問題だとの問題と、今の日本のあり方が変わるまで日本のあり方が変わるまで、中国ともアジアと複合体になりうる産業との関係も変わり、世界にも大きな変化を及ぼすと指摘。世界史を変える決意を持って憲法を守る運動に参加する意味を強調しました。

参加者が「財界人は憲法改正をどう見ているのか」と質問。品川氏は、憲法改正に向かう動機として、また軍産複合体が作られていないが、財界指導部の出身産業は軍産



## 憲法・教基法守れ、2000人

### 東京で市民集会

一人のできる努力すべてを

「まもろう憲法―ゆに立ちあがるよう呼びかゝる憲法守り市民集会」が、二十一日、東京・日比谷公会堂で開かれ、二千人が参加しました。二十日、品川正治氏が講演で「復興して憲法草案を見たとき、二度と戦争をしない」という内容で、これ以上のものはない」と語り、憲法を守る行動

「まもろう憲法―ゆに立ちあがるよう呼びかゝる憲法守り市民集会」が、二十一日、東京・日比谷公会堂で開かれ、二千人が参加しました。二十日、品川正治氏が講演で「復興して憲法草案を見たとき、二度と戦争をしない」という内容で、これ以上のものはない」と語り、憲法を守る行動

「まもろう憲法―ゆに立ちあがるよう呼びかゝる憲法守り市民集会」が、二十一日、東京・日比谷公会堂で開かれ、二千人が参加しました。二十日、品川正治氏が講演で「復興して憲法草案を見たとき、二度と戦争をしない」という内容で、これ以上のものはない」と語り、憲法を守る行動